

第1回 玉名市まちなか未来デザイン協議会 議事録

(1) 協議会概要

日時	令和7年9月16日(金) 13時30分～15時30分		
場所	玉名市総合体育館 会議室		
出席者	玉名市都市計画審議会		
	熊本県立大学 教授	柴田 祐	
	九州看護福祉大学 教授	中野 聡太	
	熊本県北広域本部玉名地域振興局土木部長	布田 久雄	
	玉名警察署 交通課長	徳尾 眞成	
	玉名農業協同組合 代表理事組合長	久保 英広	
	玉名商工会議所 地域経済活性化委員会 委員長	深見 京司	
	一般社団法人 玉名青年会議所 理事長	井手 健輔	
	玉名金融協会(肥後銀行玉名支店)会長	後藤 康雄	
	産交バス株式会社 玉名営業所 副所長	大草 武美	
	有限会社高瀬合同タクシー 課長	徳永 浩久	
	熊本県立 玉名高等学校・玉名高等学校附属中学校 副校長	豆塚 政彦	
	学校法人 玉名白梅学園 玉名女子高等学校 校長	上妻 利博	
	玉名町区長会 会長	山口 軍治	
	玉名町支館 支館長	松尾 孝幸	
	玉名市女性人材リスト登録者	石津 純子	
	玉名市まちなか魅力向上委員会	村田 明彦	
	玉名市まちなか魅力向上委員会	福富 雅仁	
	玉名市まちなか魅力向上委員会	崎山 由美	
	玉名市役所 建設部長	二瀬 哲也	
事務局等	幹事会		事務局
	管財課長	神永 和典	秘書課
	都市整備課長	中川 英昭	企画経営課
			管財課
			都市整備課
欠席者	一般社団法人 玉名観光協会 会長	丸山 晃範	
	九州旅客鉄道株式会社 熊本工務所 所長	赤池 士郎	
	社会福祉法人 玉名市社会福祉協議会 地域福祉課 課長	徳永 和一	
傍聴者	玉名市まちなか魅力向上委員会	平野 愛子	

会 次 第	1 開 会
	2 会長挨拶
	3 委員紹介
	(1)委員紹介
	(2)玉名市附属機関の設置等に関する条例及び 玉名市まちなか未来デザイン協議会の組織及び運営に関する規則について
	4 議題
	【報告】
	(1)玉名市まちなか未来プロジェクト進捗状況について
	① 令和7年度まちなか賑わい再生事業
	② 玉名市官民連携まちなか再生推進支援第2期業務委託(アクションプログラムの策定)
③ 玉名市まちなか未来プロジェクト賑わいのまちづくり 地域交流活性化支援業務委託(くまもと未来づくりスタートアップ補助)	
④ 玉名市都市・地域総合交通戦略推進事業について	
(イ) 玉名市都市・地域総合交通戦略推進事業調査(整備計画策定等)業務委託	
(ロ) 玉名駅自由通路検討業務委託	
(ハ) モビリティーハブ整備検討に伴う社会実験調査	
(ニ) 玉名駅付近鉄道立体交差に伴う比較検討の進捗	
⑤ まちなか魅力向上委員会の活動計画について	
5 意見交換	
6 その他	
(1) デザイン協議会委員の連続講演会への出席依頼	
7 閉 会	

(2) 議事録

【1 開会】

(玉名市:野田)

只今より令和7年度第1回玉名市まちなか未来デザイン協議会を開催します。本日、司会進行を務めます都市整備課の野田です。どうぞよろしくお願ひいたします。

会議の成立要件としては、協議会規則第3条第2項に全委員の半数以上と規定しており、本日は22名の委員のうち19名の委員にご出席を頂いておりますので本日の協議会は成立します。

次に本委員会は原則公開となっており、本日の傍聴は魅力向上委員会の平野様が出席されています。また本日の会議は議事録作成のため録音いたします。円滑な会議の運営に皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

本日の資料を確認させていただきます。

・会議次第

・【資料1】玉名市まちなか未来デザイン協議会委員名簿

・【資料2】玉名市附属機関の設置等に関する条例

玉名市まちなか未来デザイン協議会の組織及び運営に関する規則

・【資料3】令和7年度まちなか賑わい再生事業について

・【資料4】まちなか未来プロジェクトについて

・【資料5】賑わいのまちづくり地域交流活性化支援業務委託

(くまもと未来づくりスタートアップ補助)

・【資料6】玉名市都市・地域総合交通戦略推進事業の推進について

・【資料7】玉名駅付近鉄道立体交差に伴う比較検討の進捗

・【資料8】まちなか魅力向上委員会規約及び募集チラシ

・【資料9】公民連携まちづくり連続講演会チラシ(申し込み用 QR コード)

○当日配布資料

・席次表

・資料4 補足資料

・令和7年3月26日開催のデザイン協議会議事録

不足等ございましたら、事務局までお申し出ください。よろしいでしょうか。

それでは、ただ今から令和7年度第1回玉名市まちなか未来デザイン協議会を開会いたします。会議の開催にあたり、柴田会長より一言ご挨拶をお願ひいたします。

【2 会長挨拶】

(柴田会長)

皆さん、本日はお忙しいところをお集まりいただきありがとうございます。本年度最初のまちなか未来デザイン協議会でございます。昨年の方々のご意見を反映してグランドデザインの方が完成

したところで、今年度それを基に随時色々なことが進行していくことが今日お聞きいただけると思います。一方で8月に大雨が降って、玉名でも非常に大きな被害があったと伺っております。皆さんの中にも現在も引き続き、復興、復旧にご尽力いただいている方がいらっしゃるかと思います。まだまだ暑い日が続いていますので体調にはぜひ気をつけていただければと思います。それでは本日もよろしくお願いいたします。

【3 委員紹介】

(玉名市:野田)

ご挨拶ありがとうございました。続きまして、次第三の委員紹介に移ります。本来は事務局から委員の皆様方をご紹介させていただくところですが、時間の都合によりお手元の資料1の名簿によって委員紹介に代えさせていただきます。今年度は役職の交代などにより7名の方が新たにご参加いただいております。これからそれぞれのお立場でご意見やご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

次に、本協議会の条例と規則について説明いたします。本協議会では、資料2の「玉名市附属機関の設置等に関する条例、玉名市まちなか未来デザイン協議会の組織及び運営に関する規則」において、協議会の所掌事務や組織の運営に関する規則を定めており、本条例や規則に基づき運営をしていきます。まちなか未来プロジェクトでは都市機能が集積する市の中心部において、魅力あふれるまちづくりを行い、その効果を市全域に広げることを目標に、昨年度策定したまちなかの基本構想である「玉名市まちなかランドデザイン～まちなか未来図～」の実現に向けて取り組んでまいります。本協議会では計画の審査・審議のほか、まちづくり活動への参加支援、取組の審議検証などを行いながら、長期的に運営を行っていただきます。プロジェクトの中核を担う重要な機関でございますので、委員の皆様におかれましてはご助力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、これより審議に移らせていただきます。本日は報告が5件ございます。早速、次第4の報告に入りたいと思います。

協議会の組織及び運営に関する規則第3条第1項に基づき、この後の議事進行を柴田会長に議長をお願いいたします。

【4 報告】

〔(1) 玉名市まちなか未来プロジェクト進捗状況について〕

(議長:柴田会長)

それでは早速始めていきたいと思っております。まず最初に報告です。報告①の「令和七年度まちなか賑わい再生事業」について、ご説明よろしくお願いいたします。

〈報告① 令和7年度まちなか賑わい再生事業について説明:都市整備課森田〉

(玉名市:森田)

都市整備課の森田でございます。(以下説明)

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。報告3まで報告をしていただいて、その後まとめて質疑ということですので、報告②の「玉名市官民連携まちなか再生推進支援第2期業務委託(アクションプログラムの策定)」ご説明をよろしくをお願いします。

〈報告② 玉名市官民連携まちなか再生推進支援第2期業務委託(アクションプログラムの策定)について説明:都市整備課 植田〉

(玉名市:植田)

都市整備課の植田でございます。(以下説明)

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。引き続き報告③「玉名市まちなか未来プロジェクト賑わいのまちづくり 地域交流活性化支援業務委託(くまもと未来づくりスタートアップ補助)」について説明をお願いします。

〈報告③ 玉名市まちなか未来プロジェクト賑わいのまちづくり 地域交流活性化支援業務委託(くまもと未来づくりスタートアップ補助)について説明:都市整備課 森田〉

(玉名市:森田)

都市整備課の森田でございます。(以下説明)

(議長:柴田会長)

どうもありがとうございました。報告1から3について報告がありました。これまで何かご質問等あればと思いますが、いかがでしょうか。

(石津委員)

9月22日と10月11日の講演会は自分で申し込むのでしょうか。

(玉名市:植田)

ありがとうございます。資料9に講演会のチラシを入れていますが、そちらに添付されているQRコードを読み取っていただくと申し込みフォームになっています。一般の方も基本的に見学を可能としています。人数が多くなりすぎると会議が回せなくなるかもしれないので、まずはデザイン協議会と魅力向上委員会、出前ワークショップに来ていただいた方を対象にさせていただく。一般の方は今回は様子を見ていただくと形でご参加してもらい、例えば魅力向上委員会に入っていたり、出前ワークショップなどで一緒にご活動いただく。そういった活動に繋がっていきたく思いますので、一般の方については見学の申し込みをお願いしています。

(石津委員)

私は？

(玉名市:植田)

もちろん参加いただいて大丈夫です。ありがとうございます。

(玉名市:森田)

補足でデザイン協議会の皆様におきましては、本人ご参加の意思があられる方はご連絡いただければ、こちらで対応させていただきます。

(玉名市:植田)

郵送でお送りしている資料の中に、この講演会の参加をお願いしますという文書をつけていますが、次第の最後「その他」の事案で、改めてデザイン協議会の皆様にご参加のお願いと説明をさせていただきますので、よろしくをお願いします。

(議長:柴田会長)

ぜひ皆さん、ご参加よろしくをお願いします。

(中野委員)

九看大の中野です。植田さんからご説明いただいた中で、アクションプログラムの形態が市の事業が入っていたり、民間の事業が入っていたりと説明いただいたと思うんですが、市の事業の場合は予算が付くと思いますが、民間の事業の場合はどうなのか、あるいはその半々の割合でやるような事業もあると思いますが、予算の考え方についてよろしくをお願いします。

(玉名市:植田)

ご質問ありがとうございます。あくまで現段階のお話という中でお答えさせていただきます。予算をどう使うかというのが非常にお答えしづらいところがございます。まだ完全にまとまっていない。というのは特に魅力向上委員会に関してはゆくゆくは自走できる組織、一企業のような形になっていけたらというお話をしています。その時に市が仮に予算をつけてしまうと、魅力向上委員会という一つの企業を優遇してしまう形にもなり得るもので、そこはよろしくない部分も出てきてしまう。ですので、予算のつけ方は今後検討しながら、当然応援、支援はしていきますし、そういう体制を整えていきますが、お金が絡んできた部分ではある程度線を引かなければいけないところが出てくると思います。ただ、現時点ではそのような組織でもないし、一緒にまちづくりを進めていこうと考えています。例えば今年一つ考えているのは、魅力向上委員会の皆様が勉強会という形で他市の事例を一緒に見に行こうという話をしていますので、そちらはすでに今年予算をつけてからやっているの、できることを探しながらそこに対してしっかり支援を行う体制を進めていきたいと考えています。

(議長:柴田会長)

非常に重要なところですので、ぜひよろしく願います。そのほか質問はいかがでしょうか。

実は毎回、事前に資料の説明とこういう感じで会議を進めますという打合せをしていますが、その際に今の官民連携であるということを特に強調してくれないと、という話もあっており、私はそこが非常に重要だと思います。お金の点も含めて重要だと思いますので、皆さんとともに市民の方も頑張るといふか、やりたいことをどうにかやらないと、と思いますので、よろしく願います。

それでは後の方でも関係する部分が出てくると思うので質問がなければ次に行こうと思います。次に報告④「玉名市都市・地域総合交通戦略推進事業」について、ご説明願います。

〈報告④ 玉名市都市・地域総合交通戦略推進事業について説明:都市整備課 安田〉

- (イ) 玉名市都市・地域総合交通戦略推進事業調査(整備計画策定等)業務委託
- (ロ) 玉名駅自由通路検討業務委託
- (ハ) モビリティハブ整備検討に伴う社会実験調査

(玉名市:安田)

都市整備課の安田でございます。(以下説明)

〈報告④ 玉名市都市・地域総合交通戦略推進事業について説明:都市整備課 羽山〉

- (ニ) 玉名駅付近鉄道立体交差に伴う比較検討の進捗

(玉名市:羽山)

都市整備課の羽山でございます。(以下説明)

(議長:柴田会長)

ありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問等いかがでしょうか。

(石津委員)

石津と申します。一般市民として意見したいんですけど、玉名市の人口が6万人ちょっとで、年間1,000人ぐらいの方が亡くなられていて、出生数はどんどん減ってて、もう今400切ってる状況で、5年後には300切るって言われてます。そんな中で何十億もかけて道を作って、6年ごとに検査が何千万もかかる。そのお金って誰が負担するのかなと、もう子供は生まれてないんです。なのでもう少し現実的な話があった方がいいと思ったので、この検査結果はすごく重要と思いました。何十億もかけて、現在あまり困っていることもないので、どうなのかというのが一般市民としての意見です。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。もちろんそういう意見もあるべきだと思いますが、いかがでしょうか。確認なんですけど、今回の位置づけとしてはどう考えているんですかね。

(玉名市:森田)

ありがとうございます。そういったご意見があるのは理解した上で示してるんですけども、玉名駅の南北を繋ぐ道路というのは、以前から根強く要望として上がっていました。ただ、その空中のお話で「難しい」、「できる」ということはなかなか言えませんし、ご理解もいただけないと思います。こうして実際にどこをどう通ることで、どう支障があって、いくらかかって、どれくらい維持管理にかかるのかというのを、一度きちんと整理しないとイケないということで今回この調査をかけたところです。こういった材料が出てきたところで改めて検証をできるようになったと思いますので、今日まちなか未来デザイン協議会の皆さんにはご説明したところですが、都市計画審議会などにもご説明させていただいた上で、玉名市としてどれが一番最良なのかということを今後検討していく材料になるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。今値段が出てきたんですけど、皆さん値段も含めて率直な市民としてのご意見と感想をいただければと思いますけど、いかがでしょうか。

(井手委員)

一般社団法人玉名青年会議所の井出と申します。質問ですが、この玉名駅の利用者数約5,000人というのがいつの情報源なのかというのが一点、5,000人の内訳まで調査されているのかというのが2点目、今回の南北の道路についての要望というのはどのような属性の方がおっしゃっているのかということと、利用者がそれを望んでいるのかということも含めて教えていただければと思います。

(議長:柴田会長)

いかがでしょうか。

(玉名市:中川)

都市整備課の中川でございます。この5000人というのはおそらくコロナ前、令和元年、二年そのあたりの数字で、それから落ちてきましたが、最近では4200ぐらいまで回復してきたところです。資料としてはJRから出してある利用者数の情報がありますが、その中には内訳や属性までは記載がないので、わかりかねるところです。今後、本年の交通戦略の中で整備計画の策定を検討する業務を9月26日にプロポーザルで発注を行ないますので、利用者についてはこの中で調査を行うことになっております。よろしいでしょうか。

(井手委員)

あとは南北道路を作ってほしいと要望している方の属性を教えてください。

(玉名市:中川)

南北道路については、以前から JR 玉名駅の南北接続する小島橋と旧国道 208 号をつなげば利便性が高くなるという意見で、令和3年度から始めた都市計画道路の見直しの地元説明会でもございました。その後、令和4年度の3月に策定した最上位計画である総合計画の中で、広域ネットワークの整備、玉名駅を循環する玉名市骨格幹線道路の構想に着手など。さらに既存の公共交通の利便性向上という施策の中では、駅周辺の整備を検討し交通アクセスが良好な立地を活かした賑わいあふれる交流エリアとなるような交通拠点の機能の実現を目指したいということも総合計画に書いてあります。その後、令和6年度からランドデザインの策定に入りまして、こうした意見や計画にも対し、立体交差の案や平面の案、それぞれに概算事業費も出して、利点と欠点を洗い出して評価を行う課題が見えてきたということが経緯となります。

(井手委員)

経緯というよりは、どなたがそれを望んでいるのか。今のお話だと地元の方という属性しか見えなかったんですが、いかがでしょうか。

(玉名市:中川)

地元の方も、議員さんからも声が上がりましたし、幅広い声があったと思います。

(玉名市:植田)

今、中川からあった通り総合計画にも骨格幹線道路という形で掲載しております。こちら作る際には今行っている市民認識調査と同じものも行われており、その中で声が上がっていたりと、私たちが直接事務を行っていた際には、やはり地元の方々からも声が聞かれました。市の中心街に対してアクセスを良くすることは、十年近く前から行っていると思いますが、それに対して寄与するという形で上がっていたと記憶しています。

(井手委員)

ありがとうございます。まさに予算が無限にあるのであれば、もちろんあるに越したことはない、僕も別に否定するつもりは全くありませんが、今回説明で利用者数のことが書いてあるけど、おそらく利用者数とは僕の主観だと多分高校生が圧倒的に多いと思いますので、その方々がこれを望んでいるとは正直思えなかったというところですね。説明がちょっと良いとこ取りしているように見えたので、そういった実際の声があればそれをお伝えした方が説得力があると思ったので。費用的にはなかなか厳しいのではないかと市民目線では思います。うちも事業所がこの延長上にあるので、あるにこしたことはないとは思いますが、財源があればやれば良いことになると思います。

(松尾委員)

私は小島橋ができた時点から松木におりますが、小島橋から降りて駅の方にまっすぐ道路ができるような計画があると聞いています。松木に住んで 43 年ですがその前からそんな話は聞いています。

(玉名市:植田)

ご質問などありがとうございます。補足でご説明ですが、玉名市で色々と事業が行われていて、私たち説明する側も今までので説明しきれてなかったと思います。まず玉名駅の周辺整備について一つ計画がございます。こちらが都市・地域総合交通戦略で謳いながら、市内の循環性も考慮しながら、一つの拠点として玉名駅の整備ということを今検討しています。その一環としてあそこに JR を超える橋ができるできないというのがアクセス性の向上に大きく関わっているので、以前からお話があった、この骨格幹線道路で実際作ったらどういうことが必要になるのか、いくらかかるかということをおっしゃられたというところで、あとは駅周辺(整備)の関連の一つと考えていければ整理しやすいと思っております。

(議長:柴田会長)

そうなんですよね。この道路が目立つので目が行ってしまうんですが、例えば資料6の最初の方とか2枚目の裏の地区が目指す将来像はモビリティハブであったり、自由通路やシェアサイクルであったり。そういったものも合わせて整備していきましょうという計画の一環としてこの道路の検討もされたということですよ。まちなか未来デザイン、もしくはプロジェクトとしてはどちらかという、その幹線道路よりも自由通路ができたりモビリティハブができたり、広場ももしかしたら南側にもできるかもしれない。そっちの方が多分影響が大きいのでその辺りについてお考えやご意見いただけるとありがたいと思うんですけど、いかがでしょうか。

これもまだ本当に可能性調査の段階ではある。例えばシェアサイクルができましたという時に、誰がどこに向かって使うんだろうかっていう素朴な疑問が発生しますよね。本当に使ってくれるんだろうか。使ってくれると嬉しいんですけどね。もちろん、学生がいるから温泉まで行くまでとか、どこでもいいんですけど、シェアサイクルにぴったり、ちょうどいいといえばちょうどいいまち。そうするとまちなか楽しいな、とかそういう話がここから繋がっていくといいなと思います。

いかがですか。

(村田委員)

ちょっと深掘りしていけたらと思い意見したいと思います。今、旧 208 号線というのは昔国道だったところで、寺田から岱明の方に抜けたわけですが、それに伴って今、築山小校区がすごく人が多くなっていて、あちらの方(築山)に人も住んでいて、かつ商店街とかスーパーとか大きい店舗が、ほぼほぼあっち(築山)側に開店しています。そうなってきた時に、僕、高瀬地域で設計設計事務所をしてるんですが、どうしてもまちなかの店舗が減っているとかが元気がなくなっている感じ

がします。今回このバイパス、駅を縦につなぐことで通過路線が増えていくと思うんですが、そういう中でバイパスができたことによって車の流れや人の流れがどう変わったっていうデータなどがあれば示していただいて、今後その道ができた時に、実際は良かれと思ったことが、柴田先生が言われたように、まちの中の楽しさという回遊性が逆に削がれてしまうことに繋がっていくかもしれないというのはあるので、よかったらその辺の情報とかあればお示しいただきたい。あくまで僕は反対しているわけではないので、それはご理解いただいた上でいろんな観点で見ていくことが必要かなと思いました。

(議長:柴田会長)

そのあたり、情報というのは何かありますか。

(玉名市:植田)

都市整備課植田です。令和3年に都市計画道路の見直しを行った際に、交通量の推計、将来どれぐらいの交通量があるかという推計を取っています。その際玉名駅を縦貫する道路については、オーバース、橋を造った場合に1日約5,100台通るという推計結果です。これが踏み切りでも案外多く4,100台という数字が挙がっています。一個難点を申し上げると、旧208号線、このアクセスが増えてしまったというのは一つ課題点だと考えています。逆にまちなかに交通が集中しすぎる、今でも1万7千台ぐらいの推計値があるのがさらに増えてしまって、交通渋滞を招く原因となる、より悪化させる可能性がありましたので、仮に作る場合にはその辺のところをもう1回見直すことによって逆に交通渋滞を招かないようにと考えています。あくまで今回の骨格幹線道路は、まちなかに人を集めたい。特に天水、横島とか、玉名市のちょっと端にある部分から、まちなかへのアクセスを良くしたいとか、まちなかに人を滞留させたいということもあります。まちなかに滞留させることについては、今、魅力の方々と非常に一生懸命話し合いながらまちづくりを進めていますが、まちなかのしっかりした魅力を作っていく、そういうアクセスを利用してまちなかを楽しんでいただく、訪れていただく、そういうところを作っていく。そういう政策を同時に進めていきたいと考えています。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。

(玉名市:安田)

都市整備課の安田です。先ほど村田様からデータの話がありましたが、今回は準備してませんが次回お時間いただけることがあれば、まちなかの推計を地図上に表しながらお見せることもできます。今おっしゃったように、まちなかから築山の方にだんだん人口が流れているというのが、平成27年度と令和2年度の国勢調査でどれだけ増えて、駅周辺がどれだけ減っているのかということもお見せできます。道路ができてしまうと、そういったことが出てきていることもあります。データでいくと、もともと国道の玉名バイパスができる前、今の旧208号線はだいたい2万5千か2万台

ぐらいでしたが、バイパスができたことによりちょうど半分ぐらい分断されて今の交通状態になっています。本来通過する人はバイパスを通過して、もともと交通渋滞がひどかったまちなかから転換されて、生活圏のところは解消していったところもございます。いいところと悪いところとありますので、そういうところをデータでお見せすることもできます、といった補足です。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。この件に限らず、今の話と交通量の話はまちなかについて考えるヒントもあるかなと思いますので、ぜひ改めてお見せいただければと思います。

(玉名市:森田)

さらに補足ですが、資料6で説明のあった都市交通地域総合交通戦略については、まちなかデザイン協議会が諮問機関であり、ご意見を伺う場となっています。もう一つ地域振興課で担当している公共交通は玉名市地域公共交通会議があり、公共交通に特化した組織もありますので、そちらと連携しながら公共交通への転換や二次交通などを総合的に捉えて、都市・地域総合交通戦略を作っていきたいと思うので、その作成過程でデータなどを示しながらご意見を伺いたいと思っています。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。その他いかがでしょう。この件はよろしいでしょうかね。

続いて報告5、まちなか魅力向上委員会の活動計画について、ご説明をお願いします。こちらについては、出席いただいている魅力向上委員会のお三方からご説明いただければと思います。よろしくをお願いします。

(玉名市:森田)

先にわたくしから説明しますが、先ほどまちなか未来プロジェクトに関する説明でもあった通り、推進体制としては官民連携ということで、一つの枠組みとしてこのデザイン協議会があり、魅力向上委員会という実行部隊の皆さんがいらっしゃいます。魅力向上委員会は現在民間の方が15名組織されていますが、そちらから3名このデザイン協議会に委員として参加いただいています。先ほど植田からも説明があった通り自走できる組織へということで、いろいろ活動しながら組織化も検討されており、今回の資料8の中に規約とチラシを掲載していますので魅力向上委員会の3名代表されまして、村田さんからご説明をいただけたらと思います。

〈報告⑤ まちなか魅力向上委員会の活動計画について説明:魅力向上委員会 村田〉

(村田委員)

魅力向上委員会の村田でございます。(以下説明)

(議長:柴田会長)

ありがとうございました。何かありますか。去年も本当に大変な、労働者として非常に大活躍をさせていただいたと伺っているんですけども、本年度はいかがでしょうか。例えば、具体的に何かこんなことやってたよということがあれば、ご紹介いただければ皆さんイメージしやすいかなと。

(村田委員)

先ほどちょっとお話が出ましたが、繁根木神社で神社 de ナイトというイベントをしまして、福富さんの方から説明をお願いします。

(福富委員)

今年から夏祭りをしようということで、地域の実行委員会が立ち上がりました。そこで何かしらこの魅力向上委員会の PR ができたらということで、昨年一年間この委員会がどういう活動をしてきたかという文章を作ったり、そういった PV を放映しました。それ以外に今年災害があつて、特に僕はいろいろテレビに出たりもしたんですけど、水害の防水対策などの PR ができないかなということで、都市整備課さんが防災の VR というのを貸し出していらつしやつたので、それを 3 機設置し一般の方々にも見ていただきました。また、夜にトークセッションも行い、実行委員会サイドと当委員会のメンバーと玉名市長でこれからどういったまちづくりをしていこうかということを話す特別イベントも行いました。今のところその事業を一つ開きました。これからは特に社会実験などいろんな部分でやっていけたらと考えていますので、こういったものがあつたらいいよねというご意見もいただけたら助かります。よろしく願いいたします。

(議長:柴田会長)

どうもありがとうございます。皆さん、ご質問ないですか。

(中野委員)

今のお話伺って、まちなか未来図というのはエリアに分けてスタートしていると思うんですが、圧倒的に魅力向上委員会の方々にご尽力いただいて今動いている状況で、協力していく人、参加する人たちを増やさないといけないと思っています。そういう戦略などがあれば魅力向上委員会の方だけでなく、委員の皆様方からあれば意見交換するのもいいかなと思ったんですが、いかがでしょう。

(村田委員)

そこがすごく大変だと思っているところです。個人的な思いですけど、あまり特効薬が自分の中で思いついてなくて。ただ、神社 de ナイトの話ありましたがお祭りの場で子どもたちがワイワイ楽しくやってる場で、市長とまちづくりの話をするというのは最初はなんか違うんじゃないかなと思ってやっていました。僕もファシリテーターとして入ったんですが、ただ、やった感想は良かったなと感じ

て。何が一番良かったかという、子どもの遊んでいる場で大人がまちの将来を語っているという空気がすごくいいなと思いました。そういうまちってなかなかないと思って、そういう場をもっとたくさん増やしていければ、協力してくれる方とかまちのことを本当に考える方が増えてくるのでは、と。かなり期待値が高い、手前勝手な考えですけど。今日はいろんな企業さんやイベントをされる方も来てくださってると思うんですけど、そういうところに僕ら出かけていって話をしたり、もしくは行政の方や副市長にも来ていただいて、まちの話をしながら、場を設けるというのがまず一つ大事なことで個人的には思っています。ですので、よろしく願いいたします。

(議長:柴田会長)

ありがとうございました。確かにその部分はまだやってないんですよね。基本的には楽しそうにしてるところに人が集まってくるということではないですかね。やってる方が楽しくしていれば人が増えていくというのが王道ではありますが、それがなかなか難しいんですよね。

(中野委員)

別件なんですけど、村田さんにも大学に来ていただいて、いろいろ学生を巻き込んで、まちづくりを展開しようという動きをしたときに、他の玉名市の会議に出させてもらっても、玉名は高校が多い、大学も一つあるっていう話がよくます。その中で若い力をという、若者にとって魅力があるまちづくりをという言葉もよく聞くんですね。なので、中学校とか高校とか、小学生ももちろんなんですけど、大学も含めてうまく枠組みが作れないかなと僕は思うんですけど。どうしてもうちの大学でいくとそういう文化がまだできてないので、もう少し大きな力が要るのかなと。あんまり強制は良くないと思うんですが、学生たちにもメリットがある仕組みを作れるといいなと思いますが、今はそこまでしか言えない。そういった高校、そういった子たちを巻き込みながらがいいなという、個人的な思いもあります。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。高校はどうでした。玉名女子高校。

(上妻委員)

私は高校生と一緒に活動することはとても意義があると思う。何度かこの会議に出て、学校に帰って校長講話の中でもこんなのに行ってきたよと直接生徒に何度か言いました。先生たちにも生徒を出しましょうと言いました。大人から見れば、まだ高校生だなというところがあると思うが、高校生にしか見えない視点は絶対あるので、財源も関係なく思いつきで言っているんだと、大人が伝えていきます。ただ反省ですけど、うちの生徒と一緒にやったりは今のところない、ゼロなんですよ。言ったからすぐ高校生が参加するかどうかは分からないが、伝えるのは大事だと思います。未来のことについて話し合う会で、高校生も15、16、17なので、あと五年したら地域の青年です。一旦玉名から出て東京などに行くかもしれないが、いろんな視点を深めて帰ってきた時に地域のリーダーになる可能性は十分あると思うので、広い、温かい目で、子どもだなど思うかもしれないが、先輩と一緒に

にする経験というのはとても大事だと思うので、私たち教員も頑張っていきます。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。玉名高校もお願いします。

(豆塚委員)

玉名高校の副校長をしている豆塚と申します。一昨年まで2年間教頭で、その前は教員もしていました。また、2年前までは20年ほど玉名市に住んでいました。その時代時代で玉名市も変わっています。30数年前私が玉名高校に通っていた頃から見てもいろいろ変わってきて、ここ数年でもかなり変わってきていると思います。本校の場合はほとんどが進学しますので、大半の子たちは一旦玉名を出ます。その後は、以前はちょっと帰ってきていたと思うが、資料にあったとおり近年は帰ってくる子どもたちは減っている。その原因についても様々あると思うが、本校の取り組みとしては令和5年から玉名市の地域振興課と熊本大学にご協力いただいて、まず玉名市の課題を考えるという講座を一年目は希望者でやりました。昨年度と本年度は一年生全員と、話を聞いて興味がある子たちも参加するという活動(探求)をしています。また、始まって4年ぐらいだと思うんですが、玉名市さんはじめ紹介者様々な形でご案内いただいていますので、少数ではありますが関わってきている子たちも出てきています。ただ、それを大体的に組織化までできるかというところ、今のところはなかなか難しいかなと。ただ、探求という授業がありその中に取り込めないかと今年は挑戦しているところですが、今のところまだ広がってない。子供たちも様々な活動をしていますので忙しいんですね。忙しい中で興味を持った子たちがなんとか時間を捻出して、参加した子たちはいろんな経験をして、学びにつながっているだろうと思いますが、そのあたりの兼ね合いが難しいところがあります。将来の玉名市との関わり方は、戻ってきて関わる、出て行った先で何らかの形で関わるなど、いろんな関わり方があるので、どういった形で玉名市と関わりますかという問いかけは、ここ数年間で全校生徒にしています。ですのもう少し長い目で見た時に、そういった子たちが今後出てきてくれたらいいなと。近年は転職を繰り返したりとか、キャリアアップもかなり変わってきてますので、そうした経緯の中で少しずつ玉名市と関係を持ちたいという子が増えればいいなと思っています。

(議長:柴田会長)

そうですね。高校生は色々経験して戻ってきてくれるのがいいなと思います。

(石津委員)

石津です。2点身近にあった話で、まちづくりが好きな大学生が看護大学看護部に行っていたが、3年臨床を務めた後、今、木葉町でまちづくりに関することをやっている女の子がいると話を聞きました。もう一人、助産師の後輩が熊本市内の大きい産科の病院にお勤めされてたんですが、私がやったおはなし会に来てくださり、こういった働き方もあるんだと知った後で、小さいクリニック

に転職されて、自分のやりたいお産を実現したいと転職された事例がありました。ですので、まちづくりは大学生の子たち、興味ある子たちに、自分の働き方とか、こういう仕事をしたいという子たちに、こういったやり方があるよとか、応援するよと助言する形、玉名市で実現できるよという形で誘致していくことが未来につながっていくのかなと感じたのでお伝えしました。

(議長:柴田会長)

非常にいいお話、ありがとうございます。先ほどの繁根木神社でやるイベントも、もちろんまちづくりと言っていますが、今の話、そのまちでどう働くかという、それもまちづくりですよ。それは確かに高校生に情報をお伝えしたいところですね。とてもいいお話をありがとうございます。

(後藤委員)

金融協会代表として参加しています肥後銀行の後藤です。4月に着任しています。よろしくお願ひします。業務の都合上中座しないといけないのでお話をさせていただきます。今、校長先生や石津さんからあったとおり、金融機関としても考えているところ、まちづくりの前段として玉名で働いてもらうことが一番大事かなと思っています。高校卒業後、1回外に出る生徒も多いと思います。その後に戻ってくる人もいると思います。キャリアアップや親の介護の問題もあるでしょうし、いろんな理由で戻ってくると思います。そこで今、金融機関として感じているのが玉名は地域に素晴らしい企業がたくさんあるが、本当の意味で地元の人たちが知らないんじゃないかと思っています。金融機関はいろんな企業と取引してもらっていますので、例えば世界や国内でトップシェアのことをやっている企業さんもあるので、そういったことを地元の人がもっと知る必要はあるなと思いますし、金融機関としても皆さんに知ってもらいたいと感じています。課題としてそれがあると感じています。

(議長:柴田会長)

どうもありがとうございます。この辺り、非常に重要だと思います。ありがとうございます。

(井手委員)

高校の関係者がいらっしゃるなか少し恐縮ですが、青年会議所長として今年、青少年育成事業の中で高校生を取り上げた事業を今計画しています。先ほどお話にありました探究学習の授業、これは2022年に必修科目として設定されたと思いますが、内容は課題を発見する能力や課題を解決する能力を養う授業だと聞いています。それがまちづくりにうまくいかせるんじゃないかということで、市の方で企業を巻き込んだ形でコンソーシアムというのが今年立ち上がり、来年との二ヶ年計画になっています。青年会議所としては、このコンソーシアムを先ほどあった玉名未来づくり研究所などとセットアップしたものをうまくプラットフォームのような形で使いたい。探究学習は必修科目なので、最低ラインのところ、似たような感覚を養っていただき、それにプラスアルファで部活や授業という感覚で、未来づくり研究所やカーリーノさんとコラボされているやつだったり、そういったものをうまく活用する形をとる中に、魅力向上委員会さんも加入いただくとうまく使えるんじゃないかなと。どう

しても今は部署ごとで単発になっているので、これを全体的に有機的に結びつける提言を今考えており、今度高校生には案内させていただくんですが、やっぱり企業をうまく巻き込んで、高校生がうまく玉名に帰ってくる一つのきっかけ作りになればいいなと思ってやっていますので、似たような話が出たので番宣もかねてお話をさせていただきました。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。非常に素晴らしい、非常に重要なことだと思います。ぜひそのコンソーシアムの結果がうまくいくといいなということです。ありがとうございます。他いかがでしょうか。

(福富委員)

一つ質問ですが地域振興課がやっている高校生サミットとの連携はどうかなと。せっかく高校生が集まっているいろんな話をしているので、その中に魅力向上委員会も参加させていただき、何かしら一緒にやっていきませんかという、そういったものができたら直接的に繋がりがやすいのかなと思いました。それと、今、九看大の森江先生のところの生徒さんたちがジュニア・エコノミー・カレッジという事業を大俵まつりで子どもたちが会社を立ち上げて、販売実践をして、会社を解散するまでという事業をやっているんですが、その合宿セミナーがあるんです。そこに森江先生の生徒さんたちが今年は四名ぐらい参加していて合宿のお手伝いをしていただくという、そういう体験もあるので、いろんな部分で学生さん、大学生、当然高校生も巻き込んでいけるような形になったら、帰ってきた時にこんなのができるよねと、繋がっていただけたいなと思います。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。

(玉名市:森田)

都市整備課の森田です。高校生サミットや未来づくり研究所ですね。さっきおっしゃってた事業は、地域振興課が基本的に担当していますが、当然この未来図を媒体にして連携を図っているところで、ある高校では未来図の6エリアに子供たちを分けて夏休みの間に何件か聞きに来られたりとかもありました。特に行政を媒介にしてというよりは、直接地域の大人と接したり、一緒に活動していくのがいいかなとも思うので、そういったものはいろいろご意見いただきながら、担当部署ともさらに良くなるように考えていきたいと思います。そして、高校生が戻ってこないとか、地域の企業という話もあったんですけど、このまちなか未来図の合言葉になっているのが、「みんなでつくろう!幸せ実感、大好き玉名」ということで、令和6年度に魅力向上委員会の方たちを中心に文言を練って練って作った合言葉なんですけど、なかなか行政の計画には馴染まないようなキャッチフレーズになっていると思います。元になるのが「大好き玉名」、玉名が大好きだって思う子どもたちを育てていく。その子たちがいろんな大学や高校を卒業した後、別の地域でいろんな技術を身につけたり、いろんな経験を積んだ上で、玉名のために何かしたり玉名で何かやっていきたいという思いを大人み

んなで育てていくことが大事かなと思いますので、そのきっかけにこの未来図、プロジェクトがなればと思います。当然行政がすること、企業がすること、団体の皆さんがすること、個人ですることあると思いますけど、そういう様々な立場のご意見をこうした場で交わすと、今日みたいな色々な発展的なご意見をいただけるかと思うので、引き続きお願いできたらと思います。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。高校生も大人も人数は減っているので、それぞれやってもしんどいだけで、いろんなものを抱き合わせてみんなで一緒にやっていたら単純にいいものができていくと思います。ぜひそれをみんなで頑張っていきましょうということだと思います。その他いかがでしょうか。

どの観点でも結構ですので、何かご意見いただければと思いますがいかがでしょうか。

魅力向上委員会の議題については、とにかく今、仲間を募集してるということなので、皆さんぜひ職場の方含めお声掛けしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

次が次第5意見交換です。説明の方、よろしくお願いいたします。

【5 意見交換】

(玉名市:中川)

事務局の中川でございます。ただいま報告書について全てご説明を申し上げました。まちなか未来図に示すまちなかの将来図に向けて、アクションプログラムや都市・地域総合交通戦略の作成、まちづくりの機能を醸成する地域交流活性化事業やまちなか魅力向上委員会の活動など、説明を行ってまいりましたが、今後の活動や次回の協議会についてご意見などありましたら、よろしくお願いいたします。

(議長:柴田会長)

どこからでも結構です。何かこんなこと言っておきたいということ、やっていただけるかなということがあれば、いかがでしょう。

では私の方から宣伝にもなるんですが、玉名市のまちなか未来デザイン協議会という形の、まちなかを元気にしていこうという取り組みは、お隣の菊池市でも今やっています。こちら私、実は関わっています。それから人吉は水害からの復興で同じような取り組みをデザイン会議としてやっています。人吉は9月後半から10月、11月、市内中心部、また、そこら中で毎週社会実験をやっています。何も知らずに行くとなんかイベントに見えるんですが、全部社会実験です。全部仮説を立てて、これをやったらどうなるかと、ちゃんと実験しようとしている。ライトアップもここにつけたらどういふふうに見えるかと。それでアンケートを取って、仮設の球磨川に降りられる階段を作って、それでどう回遊が変わるか、みたいなことです。市のホームページから行っていただくと、社会実験のいろんな案内が出てきます。今、広報にもすごく力を入れていて、SNSなど全部つなげた形で広報しているので、それもご覧になっていただくと。これと同じことを玉名でする必要は全然ないと思うが、なる

ほど、こういう形があるんだねっていうことは、見ていただける、体験していただけるかなと思うのでそのあたり、人吉、もしくは菊池の方も見ていただけるとありがたいなと思います。

ちなみに10月20何日かの土日に、人吉の真ん中に大橋という橋がかかっているんですけど、それを残したいんです。そこで橋の上で何かするという市民公募をしています。温泉引いてお茶立てていいよとか、卓球はさすがにあんまりと言われましたけど、そういうイベントごとを市民公募をしていて、今私の学生と熊大の学生とコラボしてそれを提案させようとして、そういうのも面白いな。実は橋を渡ってすぐが病院なんです。救急車は通れるようにとか、そういう制限はあるんですけど、そういうこともやってました。警察とはだいぶ揉めたんですけど、そんなこともできますので、玉名でもこんな大胆なことができたらいんじゃないかなという、ご紹介でした。その他はいかがでしょうか。

(玉名市:森田)

一応補足で、本日追加資料しているヒアリングへのご協力のお願いです。今度、連続講演会の後半のワークショップで魅力向上委員会の方、デザイン協議会の皆さんを中心に意見交換させていただくんですが、それぞれ所属されている企業、団体からのアイデアとか組合ではこういう計画をしてるんだということもお聞きしながら、アクションプログラムの概要やそこに盛り込めるかという点等も進めていきたいと思っています。いろんな各種事業所で検討されている内容も含めて一旦持ち帰っていただいて、ご意見いただきたいなと思います。よろしくお願います。

(議長:柴田会長)

もう一つ皆さんにお伺いしたいんですけど、去年グランドデザインを作ってプロセスでいろんなことをやりました。今年、アクションプランを作りつつできることをやっていこうという感じですが、一般の市民の方の認知ですね。まちなかで何かやってるなというような雰囲気、もしくは認知というのはどんな感じでしょうか。広がりつつあるのか、一部の人が知っているぐらいなのか。人吉もそれがすごい課題になっています。人吉は外から見るとすごく盛り上がっているイメージですが、まちなかはいあんまり知らないということがありまして、難しいなと思っていますけど、玉名の方はいかがですか皆さん。そこはやっぱり大きな課題かなと思っています。

(村田委員)

課題感があります。先ほどお話が出ましたが、やっていかないといけないことというのは、まちは誰かが、例えば行政なんかやればいんじゃないかという思いをなるべく少なくしていく必要があると感じています。そのために先ほど話があった祭りの場でもいいから、大人がみんなのことを考えているというような場をたくさん増やしていくのが一つ。もう一つはそういうことをやっていく仲間を増やしていくのが大事だと思っています。実は今日、青年会議所とか商工会議所からも来てくださってますけど、今年度はそういう組織の方たちと何か一緒にコラボレーションしていきたい。玉名の中でも優しい大人の組織ってたくさんあると思うんですよね。そういう組織と手を取り合っていくことで、いろんなことが、認知が広がっていけばと思っているので、今年はそういったことをしていこうと思っ

てますので、今日お集まりの皆様ぜひよろしくお願いいたします。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。ぜひお願いいたします。他にはいかがでしょうか。なさそうであれば、以上ということになりますが、よろしいでしょうか。

皆さん、どうもありがとうございました。特に高校生そして今の優しい大人の話とつながりといったあたりが、本日盛り上がった議論になりました。そのあたりも自分の所に戻っていただいて、動いていただけるとありがたいなと思います。

本日の議事は以上となります。ご協力ありがとうございました。それでは事務局にお返します。

(玉名市:野田)

議長におかれましては、長時間にわたり理事の進行を行っていただき、大変ありがとうございました。また、中野副会長のほか委員の皆様方におかれましても、長時間にわたりご議論いただきまして、誠にありがとうございました。

次第六、その他については先ほどの説明の中でもありましたとおり、行政と民間が共に考え、共に動き、共に作り出すための場づくりとして、今年度2回の講演会と合わせてワークショップの開催を企画しております。このことについて担当から説明をさせていただきます。

【6 その他】

〈(1) デザイン協議会委員の連続講演会への出席依頼:都市整備課 植田〉

(玉名市:植田)

都市整備課の植田でございます。(以下説明)

(玉名市:野田)

ありがとうございました。ただいまの件につきまして、何か質問などございましたら、発言の方をお願いいたします。

質問などございませんでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは、その他の事案をこれにて終了とさせていただきます。

本日は大変お忙しい中、長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。これをもちまして、第1回玉名市まちなか未来デザイン協議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。